

第59回 社会を明るくする運動 ～あなたの温かい支えが必要です～



戦後間もないころ、貧困による少年の非行が社会問題となっていました。こうした状況に心を痛めた東京・銀座商店街の人たちが、昭和24年に犯罪や非行の予防や少年保護の必要性を広く訴えるために「銀座フェア」と称してさまざまな催しを行いました。これをきっかけに、昭和26年から「社会を明るくする運動」という名称で全国的に展開され、一度も途切れることなく、今年で59回目を迎えることになりました。

～7月は“社会を明るくする運動”強調月間です～

安全で安心な暮らしを送ることができる地域社会の実現は、すべての人の願いです。しかし、新聞やテレビなどでも事件の報道がない日はありません。犯罪や非行のない社会を築くためには、取り締りを強化し、罪を犯した人を処罰することも必要です。でも、それだけで本当に十分なのでしょうか。

安全で安心な暮らしは、私たち一人ひとりが、犯罪や非行の防止や立ち直りは地域の問題であることに気づき、自分たちの地域は自分たちで良くしていくことが必要であると理解し、自分たちのできることから地域づくりに参加していくことから始まります。

強調期間

7月1日(水)～31日(金)

重点事項

「犯罪や非行をした人たちの就労支援」

全国運動の中で、次のような行動目標が掲げられています

犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支えよう。

犯罪や非行に陥らないよう地域社会で支えよう。

これらの点について、地域社会の理解が得られるよう協力しよう。

ますます親しまれる図書館に

昨年度、図書館でみなさまに借りていただいた冊数は、4館合計で665,742冊となり、前年度に比べ約9%伸びました。

4館の中でも東条図書館は、約31%増と3年連続で大幅に伸びました。

これは、図書館システム(コンピュータ)の一元化を行い、4館の全蔵書が分かるようにしたサービスを始めたこと、図書館間に毎日1回の搬送車を巡回させ、お望みの本が早く届くようになったことなどが要因として考えられます。

37万冊の蔵書がみなさまのご利用をお待ちしています。

こんな本あんな本



「漫才」

ビートたけし 著

35年前に漫才コンビツーツービートの2人が演じた漫才のネタを再現。

今の漫才しか知らない人にとっては過激と思えるかもしれないし、2人を知っている人なら懐かしく思うかもしれない。

軽く読める1冊。

図書館の行事

行事名	内容	とき	じかん	ところ
「ピッピのおはなし会	絵本のおはなし・手あそび	7月 4日(土)	14:00～	中央図書館
「ぐりとぐら」絵本の時間	絵本のおはなし	7月14日(火)	10:30～	中央図書館
としかんのおはなし会	絵本のおはなし	7月18日(土)	14:00～	中央図書館
おはなしのじかん	絵本のおはなし・簡単な工作	7月18日(土)	14:00～	東条文化会館 ホワイエ
めるへん教室	絵本のおはなし・簡単な工作	7月25日(土)	14:00～	やしる国際学習塾

中央図書館
(☎42-8000)

滝野図書館
(☎48-3003)

休館日/月曜日・7/21・31

東条図書館
(☎47-6050)

図書・情報センター
(☎40-2004)

休館日/水曜日・7/21・31